

**20歳**  
**HATACHI!!**



# 未来へのバトンを 受け継いで

～平成25年倉吉市成人式～





【右】市民憲章唱和：山口 遼太さん

【中央】保護者代表：亀井 譲二さん

【左】成人式実行委員会の皆さん

### 喜びにあふれる再会

快晴の元日は打って変わって、時折激しく吹雪いた1月3日(木)、「平成25年倉吉市成人式」が、倉吉未来中心で開催されました。本年度の対象者は509人。このうち403人が式典に出席しました。

受付が始まる午後1時には、色鮮やかな振袖やはかま、スーツに身を包んだ新成人でアトリウムは埋め尽くされました。久々に顔を合わせた旧友と会話を弾ませ、楽しそうにカメラやスマートフォンなどで写真を撮り合う姿がこちらで見られました。

### 大人になる君たちに

午後1時30分、家族や地域の人などが見守る中、厳かに式典の開会が告げられました。最初に参加者全員による国歌、市歌斉唱、新成人の山口遼太さんのリードにより、市民憲章が唱和されました。石田耕太郎市長は、「大きな節目を迎えるにあたり、家

族、友人、地域の方々との出会い、いろいろな人の支えがあつて、今日を迎えられたということに思いを巡らせてほしい。市制60周年という記念すべき年に皆さんは成人になった。倉吉市の発展には、若い感性と創造力、力強さが必要。倉吉の未来は、若い皆さんが担っていくという自覚と、将来への夢、そして希望を持つて、情熱を燃やしてほしい」とあいさつしました。

谷本修一議長は、「これからの日本はたくさん課題が山積み。新成人の皆さんが新たに得た選挙権を正しい判断で、棄権することのないようお願いしたい。また、人生には想定外のできごともあるのだから、そういう時にもぜひ立ち向かう勇気を持つてほしい」と、来賓を代表してお祝いの言葉を贈りました。

保護者代表の亀井譲二さんは、「これからは成人として与えられる権利だけではなく、背負うものもたくさんある。納税の義務を果たすこと、最低限の決め事を守らなければならぬこと。身体も大切にしてほしい。社会に出たら、苦しいこともたくさんあるが、そこに身を投じなければ前には進めない。恐れず、後悔せず、自分を信じて、これが私の生き様だと胸を張って語れる人になってほしい。未来へのバトンを渡す準備はできているから」と、親元を離れ、社会に旅立つ新成人にエールを送りました。

### 未来へのバトンを

Opinion **成人の嗜み** たしな 大人になると、さまざまな権利を得ます。けれども、それを行行使するには、大人としてのスマートな自覚とマナーが必要です。

## 選挙

現在、20歳以上のすべての日本国民が、選挙権を持つことができますが、かつてはごく一部の人にしか与えられていませんでした。昭和20年に普通選挙が実現するまで、先人の血と汗と涙によって勝ち得た大切な権利です。

政治への意思表示となる一票を投じましょう。



自分へと、必ずつながるその一票

(3)平成 25.2



## タバコ



タバコは、がんや生活習慣病の最大の危険因子です。タバコに含まれるニコチンには強い依存性があり、数本吸っただけでやめられなくなると言われています。タバコの煙にも有害な物質が多く含まれ、周囲の人の健康にも影響を及ぼします。

どうしても吸いたいときは、喫煙所で吸うなどのマナーを守りましょう。

また、タバコを吸わないのも大人としての選択枝の1つです。

みんな、倉吉の美味しい空気を吸おう

## アルコール

水が美味しい倉吉では、古くから酒造業が盛んです。地元の「銘酒」をぜひどうぞ。

ただし、飲酒運転や飲み過ぎは厳禁。節度を守って楽しみましょう。



元帥酒造 大吟醸「八賢士」

中井酒造 八潮 純米吟醸「梨吟醸」

高田酒造 「此君 大吟醸」

「飲む」より「楽しむ」気持ちを大切に

「患者さんを笑顔にしたり、励ましたり  
することができる看護師になりたい」

三木 千秋さん

Miki Chiaki

# の抱負

この20年を振り返ると、たくさん  
さんの思い出がありますが、  
共通しているのは、周囲の人々の  
支えなしでは生きることができな  
かった、ということですね。

特に家族の支えは、なくてはな  
らないものでした。幼い時から、  
いろいろなお事に挑戦できる環境  
をつくってもらえたことで、今、  
このような場に立つことができた  
のだと思います。また、悩んだと  
きには相談相手になってもらい、  
体調を崩したときは、看病しても  
らいました。そして、毎日、当  
り前の生活を送ることができたこ  
とも、家族の支えがあったからだ  
と思います。本当にありがとうございます。

それから、地域の皆さまの支え  
もなくてはならないものでした。  
地域活動や催しで、私たちの成長  
を温かく見守り、支えてくださっ  
たことに心から感謝しています。  
さて、2012年はロンドン・  
オリンピックが開催されました。  
私は、選手たちの「たくさんの人  
の応援、支えがあったから、こ  
こまでやってこられた」という感  
謝の言葉が心に残っています。  
2011年には東日本大震災があ  
り、現在でも復興に向けた努力が  
続けられています。この大震災で、  
助け合い、支え合う人々の姿を目

の当たりしに、感謝の気持ちの大  
切さを知りました。

私は今、鳥取大学医学部で看護  
の勉強をしています。実習を通じ  
て人に感謝することはもちろん、  
人から感謝されることで、人は喜  
びを感じ、人とのつながりが生ま  
れてくるのだと感じています。私  
は将来、看護師として鳥取県で働  
きたいと思っています。患者さん  
が、その人らしい生活を地域で送  
ることができるよう、その人に  
合った看護を提供できる看護師に  
なりたいと思います。

また、私は人の笑顔を見ること  
がとても好きです。私自身、「いつ  
も笑顔だね」と言われます。将来  
今まで以上に厳しいこともたくさ  
んあると思います。その中でもこ  
の自分の明るさを活かして、患者  
さんを笑顔にしたり、励ましたり  
することができ、そんな看護師  
になりたいと思います。

私たちは、これから社会に出て、  
それぞれの環境で活動していきま  
す。今までは未成年ということ、  
地域や社会に甘えて生活してきま  
した。これからは大人としての自  
覚を持ちたいと思います。今の気  
持ちは忘れずに、勉強に励み、将  
来、倉吉の役に立てるような、そ  
んな大人になりたいと思います。



「自分が経験したこと、教えてもらったことを、子どもたちに伝えたい」

## 金光 淳志さん

Kanemitsu Ahushi



### 本日

成人式を迎えるにあたり、これまで私たちが育て、励まし、指導してくださった家族や地域の皆さまに、新成人一同を代表して、心から感謝を申し上げます。

さて、私たちは、本日より大人の仲間入りをします。とても晴れやかで、めでたいことではありますが、その一方で、社会的に責任を果たさなければならなくなったこととなります。今までは未成年として、社会に守られていたところもあり、ある程度は許されることもありました。しかし、今日、成人式を迎えた私たちは、責任ある社会の一員となりました。私は、今日をいい機会とし、自分自身の行動や言動に対する責任や、大人の自覚を持ち、自分や社会に恥ずかしくない行動をしていきたいと思っています。

私には、小学生の教員になるという大きな目標があります。教員は、人に教える立場なので、自身が立派な人間に成長していかなければなりません。この目標を達成するためには、たくさん勉強し、さまざまな経験をして、学んでいく必要があります。

例えば、私は高校の時、陸上部に所属していたのですが、慣れない練習にくじけてしまい、辞めた

くなったこともありました。それでも声をかけてくれた家族や友人周りの人たちの支えのおかげでやり通すことができ、インターハイにも出ることができ、自分に自信が持てるようになりました。この経験を通して、私は、周りに支えてくれる人がいることの大切さと、あきらめず、続けていくことの大切さを学びました。

だから、これからも何事にも熱意を持ち、失敗にもくじけず、たくさんの方に挑戦していきます。そして、2年後にこの倉吉に帰り、今まで私が経験したこと、教えてもらったことを、今度は子どもたちに教えていき、共に成長したいと考えています。

これから、私たちは大人として、これまでの20年間よりさらに長い時間を歩んでいくことになりました。楽しいこともあれば、つらいことも当然あります。しかし、私たちは一人ではなく、大切な友達そして、何より家族がいます。自分一人ではないということ、支えてくれる人がいること、そのことを忘れなければ、つらいことも乗り越えていけると思います。

これからの私たちの活躍に期待し、温かく見守っていただけたら幸いです。

snapshot

## 20歳 HATACHI!! の表情



# 20歳の記念 HATACHI



河北中学校区



東中学校区



西中学校区



# 懐かしい友人、近所のあの子は、見つかりましたか？

～身近な新成人に「おめでとう」と声を掛けることから始めませんか～



久米中学校区



鴨川中学校区

## 取材を終えて



成人式に臨んだ20歳の若者たちは、「大人になる」ということをどんなふう  
に受け止めているのでしょうか。大学な  
どに通っている人、働いている人、す  
でに子育て中の人もいるかもしれませ  
ん。いずれにしても、それぞれの日々  
の生活に劇的な変化が現れるわけでは  
なく、わが身を振り返っても、この日  
を境に、急に大人になったという実感  
が湧いてきた―ということもなかった  
と思います。

しかし、社会の受け止め方は大きく  
変化し、君たちには、「責任」という言  
葉が求められます。これまで守り続け  
てくれた親でさえ、もう君たちを守る  
ことはできなくなりました。

親は、愛するわが子が「社会」という  
大海原に一人で漕ぎ出していく姿を、  
喜びと不安が入り混じった複雑な気持  
ちで見送っていることでしょう。そし  
て、無事に、そして喜びに満ちあふれ  
た航海を全うしてほしいと願っている  
でしょう。そんな親の願いをぜひ叶え  
てほしいと思います。

この成人式に触れ、君たちと共に生  
きる未来が、今よりも、もっと輝かし  
いものになってほしいと、心から感じ  
ました。